



特集

けいざんぜんじ
瑩山禅師ものがたり 13



瑩山さまのもとで二大高弟
峨山さまと明峰さまがお育ちになりました

悟りに到達する、そのために

義介さまの後を継いで大乘寺の住職に
ついた瑩山さまは、門弟たちの育成に力を
注がれます。その柱になったのが「伝光録」
です。お釈迦さまから道元さま、懐奘さま
まで五十三人の祖師たちそれぞれの悟り
に至る道筋を、門弟たちに語って聞かされ
たのです。

瑩山さまは、どういう修行をすれば悟
りを得ることができるのか、その覚悟を門
弟たち一人ひとりに強く求められました。
その必死な思いと姿に弟子たちも奮起、
多くの優れた門弟たちが育っていきま

したが、その六人のうち、特に瑩山さまの
二大高弟と呼ばれるのが、峨山さまと明
峰さまのお二人です。

問答を挑んだ峨山さま

峨山さまは能登に生まれました。比叡
山で修行し天台教学を学びました。瑩山
さまが大乘寺を継ぐ一年前のこと、所用で
京都に滞在されていた瑩山さまのもとに、
突然峨山さまが訪ねてきて問答を挑まれ
たのです。

当時、比叡山で一番の秀才と噂たわ

No. 68
2023 Spring

がんしょうざん
山松舎
寺南臨

いた峨山さまですが、瑩山さまの前では手
も足も出ず、完敗してしまいました。

その二年後、阿波(徳島)から大乘寺に
戻られた瑩山さまを、峨山さまが訪れ再
会を果たします。憔悴した様子の峨山さ
まを一目見るなり、瑩山さまは禅門での修
行を勧められます。こうして峨山さまは
瑩山さまのもとで修行を始められること
になりました。

明峰さまには大乘寺の住職を

明峰さまも、大乘寺の近く、能登か加
賀(石川)の生まれと言われます。峨山さ
まと同じく比叡山で天台教学を学ばれま
したが、大乘寺の瑩山さまの門を叩くこ
とになりました。

明峰さまは峨山さまより一歳年下です
が、瑩山さまは明峰さまに、峨山さまより
先に大乘寺の第三代住職を譲ることを決
められ、その旨を記した書状を手渡され
ました。この時瑩山さまは、義介さまから
頂いた道元さま手縫いの袈裟を明峰さま

に授けられています。

明峰さまは瑩山さまの思いに添えて、ご
自分の弟子たちに「道元さま手縫いの袈
裟をいただいた。『正法眼蔵』を広めるこ
とに尽くせ」と指示されています。明峰さ
まは大乘寺第三代住職、永光寺第二代住
職となつて、瑩山さまの後を継ぎました。

峨山さまには總持寺の住職を

瑩山さまは、峨山さまには總持寺第二
代住職を譲られました。この時、道元さま
手作りの竹篋しんべいを授けられています。峨山
さまは明峰さまの入滅後十六年も長生き
して、九十二歳まで四十五年間、瑩山さま
の後継者として僧団の基礎を固められま
した。

峨山さまの主だった弟子は「峨山の二十
五哲」と言つて二十五人いました。そのう
ちの五人がそれぞれ、總持寺に普蔵院、妙
高庵、洞川庵、伝法庵、如意庵を建てまし
た。それを五院と言いますが、その五院の
支流が四五〇ヶ寺に広がり、それをベース
に全国各地に峨山派の寺院が建てられま
した。二方の明峰派の寺院は、東北、関東、
北陸、中国、九州に広がっていました。
曹洞宗が約二万五千ヶ寺という最大の
宗団に発展したのは、瑩山さまの門弟育
成の賜物と言えます。

「はんにゃ心響」第一回

この度、数回にわたって連載させて頂くこととなりました、山形県酒田市正常院住職、成澤祐吾と申します。

私の人生の中で心に響き、自身の成長につながった「ことば」や「出来事」(智慧はんにゃ)を皆さまにご紹介させていただきます。お読みくださった方の日常の糧となればと願っております。

第二回は、元サッカー日本代表監督・岡田武史さんのことばです。昨年のサッカーワールドカップでは日本代表の活躍に「喜ぶ憂いました。メディアもいろいろな方がそれぞれの視点から意見されており、解説者のコメントにも注目が集まりました。」

以前、代表戦で中々ゴールが決まらず苦しんでいた香川真司選手がゴール前でごぼれ球をシュートしたときに実況のアナウンサーが「いやあ香川選手ラッキーなゴールでしたねー、岡田さん」

と解説の岡田武史さんに言う。「いや、ラッキーなゴールなんてありませんよ、神さまも見ている。こういうときは努力を重ねた者だけにボールが転がってくる、そういうものなんです」

と淡々と言い、アナウンサーが恐縮したことがあります。そのときから岡田武史さんのことばには「目置いており



山形県酒田市 正常院住職
成澤祐吾 老師

ました。

今回のワールドカップ二戦目で日本代表がコスタリカに負けた時、手のひらを返したように監督や選手を批判する世論に対して、第三戦が始まる前に解説の岡田さんが言ったことばです。

『人が成長するときってのは困難や失敗の後だ。失敗すれば周りから批判される。だから批判される人間ってのは成長する。不思議なことに批判する人間は成長しない。なんでかな？ 批判しているやつってほんと成長しないんだよなあ。つまり、批判している人間は自分の成長をなげうってまでその人を成長させてくれているわけだ。有難いよな』

皮肉めいたそのことばは岡田武史という人柄も含め、グッと胸に刺さるものでした。最近の私たちは何かあればその「なにか」を批判しています。成長をなげうってまで！ そろそろ「成長」する自分を取り戻しませんか？

合掌

臨南寺行持予定 (三月・四月・五月)

○ **彼岸会お墓経** (はかなえ はかせぎ) *三月二十日・二十一日 午前十時～午後三時
お彼岸のお墓経を行います。臨南寺にお墓をお持ちの方に限ります。(回向料一万円)

○ **マトリお墓経** (はかせぎ) *三月二十日・二十一日 午前十時～午後三時
お彼岸のお墓経を行います。お申込み多数の場合は各家ご同席で読経いたします。(回向料二万円)

○ **春季彼岸会施食会** (ひがなえ せじせえ) *三月二十四日 本堂にて
午後二時～午後二時三十分

○ **積尊降誕会(花祭り)** (しくせん げうたん え) *四月八日 本堂にて
お釈迦様の御誕生日に、感謝と報恩の法要を行います。本堂前にお誕生仏と甘茶を夕方まで置いています。

○ **がつしょう園マトリ合同法要** *五月十四日
午後二時～午後二時半

*なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止することや変更する場合がございます。臨南寺の行持については、臨南寺のホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。
寺務所の電話 ○六・六六九八・二〇〇二(九時～十七時)

早朝坐禅会、写経会とも

しばらくお休みさせていただきます。
ご了承ください。

一月十五日、 弁財天祈禱会を

修行しました



新年を迎えて最初の法要、弁財天祈禱会が本堂で二月十五日修行されました。祈禱会に先立ち、大澤住職から紫雲殿の建て替えが無事に完成したことが報告され、祈禱後に内覧会が行われました。

その後、『大般若波羅蜜多經』六百巻が転読され、コロナ禍が一日も早く終息し、新しい年が安らかであります

よう全員で心を込めて祈願いたしました。また、皆様の無病息災、家内安全を願って、お札、お守り、守護矢が、全員に授けられました。



皆様の無病息災、家内安全をご祈念いたしました

新しい休憩所でお休みください

休憩所が新しくなりました。どうぞご利用ください。階段の横にスロープも設置していますので、車椅子の方もご利用いただけます。



お彼岸は車が込み合います



この歩道は自転車もご利用いただけます

境内の歩道は、徒歩の方や車椅子の方だけでなく、自転車の方もご利用いただけます。

数年前から、当寺院の境内地で人身事故が発生しています。境内での運転は最徐行をお願いします。改善される様子が見られなければ、車両の乗り入れを禁止いたします。

なお、境内地内での事故等につきましては、当寺院では一切の責任を負いません。

編集後記

先日、白浜へ妻と二人で2泊3日の温泉旅行に行ってきました。手術の後で少し心配しましたが、一日4回も温泉に入ることができ掛け流しの湯を堪能しました。地域クーポンで海鮮丼もおいしくいただきました。温泉熱に再び火が付いたようです。(M)

「ほ～っと」68号

令和5年2月

編集・発行：りょうがりん 椋伽林「ほ～っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com